

番組審議会

第3回 BS よしもと番組審議会

■開催年月日 : 2022年 8月10日(水)

■開催場所 : BS よしもと株式会社 会議室

■出席した委員(敬称略)7名全員出席 *あいうえお順

大原鶴美 (プロフェッショナル コミュニケーションスキル マスター・トレーナー)

川上和久 (麗澤大学教授)

久保博 (一般財団法人 日本スポーツ推進機構(NSPO) 理事)

品田英明 (元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長)

清水義次 (建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役)

竹中ナミ(ナミねえ) (社会福祉法人プロップ・ステーション理事長) *リモート参加

山田秀雄 (山田・尾崎法律事務所 弁護士)

■議題

1. 開会の辞 (審議委員長)
2. 開会の挨拶 (稲垣社長)
3. BS よしもと 新メンバー紹介
4. 編成関連の報告
5. 視聴者からの反応の共有 (コールセンターレポートより)
6. 番組審議 対象番組「ワシんとこ・ポスト」7月15日(金)放送回
7. 閉会の挨拶 (泉副社長)
8. 事務局からの連絡事項
9. 閉会の辞 (審議委員長)

川上審議委員長による開会の辞に続き、社長 稲垣より、人員の補強を行いより視聴機会を拡大できるよう積極的に取り組んでいることが報告された。

続いて今回初参加となる BS よしもとのメンバーが紹介され、以下の本議題へと進行した。

■審議の経過の概要等

1. 編成関連の報告

編成制作局長より、以下について報告し、全審議委員に理解された。

① 8月の基本編成表について配布資料にて説明

② 5月から8月までの下記の新番組、特番についての紹介

・「FIBA 3x3 ワールドツアーうつのみやオープナー2022」5月29(日) 23:30-25:00 放送

- ・「ガレッジセール・ゴリのおきなわフチ歩き」6月24日（金）スタート
毎週金曜日 25:00-25:30 放送
- ・「ウェザーニュース LiVE」7月1(金)スタート 月週～金曜日 6:00-6:30 放送
- ・「よしもと BASEBALL LIVE 福岡ソフトバンク vs 北海道日本ハム」
7月9日（土）17:30～、7月10日（日）12:30～放送
- ・「渚の日立なかよし倶楽部」7月31日（日）スタート 毎週日曜日 16:30-17:00 放送
- ・「福岡ソフトバンク vs 東北楽天」 8月6日（土）13:30～放送
- ・みんわらウィーク特番「みんー1 グランプリ 2022」8月7日（日）14:00～15:00 生放送
- ・LIVE STAND 特番！ 「～BSも Laugh にいこうぜ！！～」
8月20日（土）11:00～13:00 生放送
- ・BSよしもとスペシャルウィーク「チーキーズ GIFT ～夏～47都道府県へGO!GO!GO!」
8月1日（月）～8月5日（金）
（月）～（金）帯で生放送している下記3番組の合同企画を実施
- 「チーキーズ キャスト1」 8:00～10:00
- 「チーキーズ キャスト2」 10:00～12:00
- 「チーキーズ a GO! GO!」 13:00～17:00

2. 視聴者からの反応の共有（コールセンターレポートより）

考査部より5月～7月中にコールセンターに寄せられた視聴者からの意見についてのサマリーを報告し、全審議委員に理解された。

3. 番組審議

対象番組「ワシんとこ・ポスト」7月15日（金）放送回

初めに、対象番組について、制作を担当した吉本興業株式会社 執行役員 コンテンツ本部長より説明を行い、審議委員長による進行により、各審議委員から寄せられた質問、意見にはチーフ・プロデューサーから回答を行う形式で番組審議を進行した。

各審議委員からは、以下のような意見が寄せられた。

- ・BSよしもとらしさが感じられるユニークな番組名が印象的である。
 - ・ベテランメインキャスターの小倉淳氏の進行技術が素晴らしい。
 - ・冒頭の熊本県在住芸人 安井政史氏による、臨場感ある現地の気象レポートは、BSよしもとならではの良さが発揮されていて良い。
 - ・グラフによるデータ提示がわかりやすく良い。
 - ・1つのテーマに対して十分な時間をかけた展開が大変興味深いですが、一方で間延びした感もあり、後半のテーマも含めた時間配分の工夫が必要ではないか。
- また、地元とのリモート中継で更に興味が持たれたので、多様化してはどうか。

・他局で暗いニュースが多い中でも、業界紙からの話題、灯台の特集やのりの養殖の特集など、他では見ることのできないユニークなテーマが、ポイントをしっかり押さえて展開されていて楽しい番組構成になっている。

ただし、ニュース・ソースがメジャー紙ではないため、報道として記事の内容の精査も必要である。

・番組が醸し出す雰囲気がアットホームで、若いゲストも溶け込みやすい印象があるため、今回のような10代等の若いゲストコメンテーターも積極的に起用してはどうか。

ただし、話題によっては入り込めていない印象があり、人選やテーマの選択に工夫が必要なのではないか。

・経済評論家 町田氏の解説は、一般の視聴者にもわかりやすい解説で大変良く理解できた。一方、吉本関係者の話題の際には、内輪話ではなく、より誰にでもわかりやすい表現で説明された方が良かったのではないか。

・レギュラー出演者の芸人の創造性や瞬発力をもっと番組に取り入れ、町おこしなどに活用してはどうか。

また、コンプライアンスを遵守しながらも、予定調和ではない自由なコメントにも期待したい。

・Twitterだけではなく、Facebookなど、地方自治体と連携できるようなSNSをもっと多様化すると、より広がりが生まれるのではないか。

これらの意見に対し、チーフ・プロデューサーからは、以下のようなコメントが戻された。

・1テーマにかける時間構成に対しては、現地の中継を盛り込む等、飽きさせないような作り方を工夫し改善を図りたい。

・ベテランのレギュラー出演者が多いため、17歳等の若いコメンテーターの起用を行うことにより、インフルエンサーの役割を期待しつつ、より若い視聴層の取り込みも目的としているため、各テーマとの適正を図れるよう事前の打ち合わせなどでフォローを行いながら、今後も起用してゆきたい。

・解説者のコメントは、各人の持ち味を活かしつつ、リテラシーが足りない場合にはMCによるフォローなどで補足し、引き続き一般の視聴者にわかりやすいものとなるよう心掛けたい。

・芸人のアイデアの起用など、新しいコーナーの開発にも挑戦し、より魅力的な番組制作を目指したい。

最後に次回の開催時期を確認後、弊社副社長 泉による閉会の挨拶を受け、審議委員長による閉会の辞が述べられ、審議会が終了となった。

■現在のBSよしもと審議会委員（敬称略）

※2022年5月現在

川上和久（委員長／麗澤大学教授）

山田秀雄（副委員長／山田・尾崎法律事務所 弁護士）

大原鶴美（プロフェッショナル コミュニケーションスキル マスター・トレーナー）

久保博（一般財団法人 日本スポーツ推進機構（NSPO）理事）

品田英明（元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長）

清水義次（建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表
取締役）

竹中ナミ(ナミねえ)（社会福祉法人プロップ・ステーション理事長）

以上